

# 農産物直売所開設新規雇用創出事業【北海道旭川市】

～①地域に密着した魅力ある直売所開設モデル事業／②畑が見える産直ショップ・レストラン開設モデル事業

## 事例紹介

### ふるさと雇用再生特別基金事業 【産業振興分野】

#### 事業概要

市内全域の農業者を対象とした農産物直売所の設置と消費者のニーズ調査を行うとともに、地物農産物を食材として扱うレストランの併設により販売額の向上を図るものです。

#### 委託先

①たいせつ農業協同組合（職員数100人）／②あさひかわ農業協同組合（職員数311人）

#### 新たな雇用創出数

①7人／  
②9人

#### 事業費

①2,558万円／②2,440万円  
（平成23年度）

#### 事業期間

①H21.6～H24.3  
②H22.5～H24.3

#### 業務内容

①直売所を運営する上での農業者の登録体制，農産物の集荷体制，価格設定及び有効な販売手法等について検討・試行しました。また，売上向上のための端境期における農産物や加工品の提供，消費者ニーズや店舗の立地条件等について，農業者等とも検討・協議し，直売所運営に活用しました。

②地元農産物を食材として活用するレストラン併設型の直売所において，販売額向上などの相乗効果や消費者動向など調査・検証するとともに，事業終了後の自立を念頭に置き，立地特性を生かした販路拡大に向けた取り組みを試行・検証しました。

新鮮・安全・安心な  
お米・野菜・  
農畜産加工品を  
販売しています！



あさがお神楽店スタッフ

①たいせつ  
農産物直売所



②農産物直売所  
あさがお神楽店



# 活動紹介

## たいせつ



職員による集荷もしています



出荷農家による販売協議会



旭山動物園に続く新名所を目指す  
田んぼアート。その隣に小さな支店を



端境期対策の一環として設けた南さつま  
コーナーに南さつま市長が登場！

## あさがお



開店日には大行列が！



広い店内、イベントも大盛況



本格江戸別そばが味わえます



そば打ちセミナーも開催

## 事業終了後の事業継続 ・雇用継続への展開

旭川市およびその近郊は、大雪山連峰が源流の豊富な水をはじめとする自然環境に恵まれた都市近郊農村地帯であり、水稻のほか60種類以上の野菜の産地でもあります。このような恵まれた立地条件を活かし、消費者の食の安全・安心に対する関心の高まりを背景に、地元の新鮮な野菜や加工品などの豊富な品揃えやイベント等の開催も相まって、両直売所とも一定の集客を上げることができ、運営上のノウハウをはじめ数多くの成果が得られました。

ふるさと雇用再生特別基金事業としては23年度で終了しますが、24年度以降も、運営体制や事業内容を随時見直しながら、地産地消に対応した新たな販路を確立するため、また地域に対する情報発信の場のひとつとして、事業を継続していく予定です。

# 伝統工芸「裂き織り」の技術継承のための障がい者雇用事業【岩手県盛岡市】

## 事例紹介

### ふるさと雇用再生特別基金事業 【産業振興分野】

「周囲の皆さんの温かい支援のおかげで事業を立ち上げることができました」と感謝の想いを語る石頭悦(いしがしら えつ)代表取締役。  
趣味はバイクとドラマ。



#### 事業概要

伝統工芸「裂き織り」の技術継承を図るとともに、裂き織りに関心を持ち技能を有する障がい者の雇用の場を創出する。

#### 委託先

株式会社幸呼来Japan  
「さんさ裂き織り工房」  
従業員数 4人

#### 新たな雇用創出数

4人

#### 事業費

約611万円(平成23年度)

#### 事業期間

平成23年4月  
～  
平成24年3月



#### 業務内容

##### さんさ裂き織り製品の開発及び製作

・「裂き織り」とは、裂いた布を横糸にして織る厚手の織物で、岩手でも長く受け継がれてきた伝統工芸です。「さんさ裂き織り工房」では、盛岡を代表する夏祭り「盛岡さんさ踊り」で使用した浴衣等を再利用し、伝統の中に「いま」を見つけながら、新しい裂き織りの可能性を育てています。

##### 【主な開発製品】

- ・「南部の灯火(なんぶのあかり)」…裂き織りと南部鉄器を組み合わせた照明オブジェ(写真)
- ・「ペンケース」「ブックカバー」「テーブルクロス」など

##### 各種展示会、販売会への出展

・障がい者の雇用維持拡大と事業の自立を促進するため、さんさ裂き織り製品の紹介、販路拡大に向けた営業活動を首都圏を含め展開しています。



＜南部の灯火＞ 岩手山、岩手の春を彩る石割桜や小岩井農場の一本桜をイメージした花びらの灯りをデザインに取り入れ、ほんのりと岩手の風情を映しだしています。

## 活動紹介

### 【事業のきっかけ】

・始まりは2009年、市内特別支援学校の学校見学でのこと。生徒さんの裂き織り技術に感心し、「なんとかこの技術を生かして生徒さんの就職につなげたい、何かできることはないだろうか…」そんな想いを知人に話したところ、周囲の協力を得て基金事業を活用し事業化に至りました。

### 【事業スタート～独立へ】

・当初は、新分野へのチャレンジとして市内の住宅リフォーム専門企業の一部門として事業をスタートさせましたが、事業拡大に伴い2011年に新会社「株式会社幸呼来Japan」を設立し独立。「幸呼来(さっくら)」とは、盛岡さんさ踊りの「サッコラ～チョイワヤッセ」の掛け声で「幸を呼ぼう」という意味。3月の東日本大震災を乗り越え、世の中のみみんなに幸が来るように、そんな想いを社名に表現しました。

### 【事業の特徴と理念】

・岩手に昔から伝わる裂き織りを現代のライフスタイルに合う製品へと磨き上げ、若い世代から高齢の方まで広く愛されるものを提案しています。加えて、新しい産業を生み出すため、地域の企業と手を携えながら歩んでいきます。それが雇用の機会を創出することにつながり、障がい者を含め住み慣れた盛岡の地で暮らしたいと願う人々の受け皿となることを願っています。

### 【出展した主な展示会等】

- ・山手洋館芸術祭 (H24.2 横浜市)
- ・東京インターナショナルギフトショー (H24.2 東京都)
- ・「幸せの色と音を結ぶ」ポストカード展示即売会 (H24.1 横浜市)
- ・「さんさ裂き織り」展示販売 (H23.4～5 盛岡市)
- ・NHKドラマ「どんど晴れスペシャル」に小道具が採用され全国に放映 (H23.4)



工房で製作に取り組む織り子の皆さん



東京インターナショナルギフトショーの出展ブース

## 事業終了後の事業継続

### ・雇用継続への展開

### 【事業の継続】

- ・2012年4月から、障がい者自立支援法に基づく就労継続支援のための施設(A型)への移行を予定。
- ・併せて「生涯現役・全員参加・世代継承型雇用創出事業」を活用し、裂き織り技能者1人を指導者として雇用し、織り子へのさらなる技術継承を推進。

### 【雇用の継続】

- ・ふるさと雇用で雇用している4人(うち2人は障がい者)は、4人全員を継続雇用。

### 【課題と今後の事業展開】

- ・事業の自立化に向けた収益の確保と更なる販路拡大、新製品の開発と海外を含めた新規顧客の獲得。

# 栗駒山麓地域再生プロジェクト事業 【宮城県栗原市】

## 事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業  
【産業振興分野】

平成20年に起きました岩手・宮城内陸地震でこの宮城県栗原市は甚大な被害に見舞われました。失われた雇用の機会を創り、この事業を通じ地域を盛り上げていきたいです。



栗駒山麓利用組合  
大場 浩徳 組合長

### 事業概要

栗駒山麓の地産地消的な農産物を使い、宮城発全国ブランドへのステージアップに向け、安心安全はもちろん、栗原ブランドとしてのカテゴリーを確立し、生産者・ユーザーと一体になった共存・共栄のモデル作りに挑戦する

### 委託先

栗駒山麓利用組合  
従業員数5人

新たな  
雇用創出数

6人

### 事業費

約4,590万円  
(平成21年度～平成23年度)

事業期間

平成21年9月～  
平成24年3月

### 業務内容

**地域ブランド品の研究・開発**  
栗駒山麓で生産される農産物や加工品としての研究、開発の実施。

**アンテナショップの研究・開発**  
栗駒山麓における、観光案内や農産物生産に係るアンテナショップ整備の調査研究及び開拓を目指す。

**コミュニティビジネスの創出**  
栗駒山麓の住人が主体となって、抱える課題をビジネスの手法により解決し、また、コミュニティの再生を通じて、その活動の利益を地域に還元する事業の創出を図る。

**地域支援プログラムの開発**  
栗駒山麓における支援プログラムの調査、開発。



# 活動紹介

## 越冬キャベツの栽培



冬季この地域では2～3mの雪が降り積もります



冬越ししたキャベツはとても甘い



地域の特性を生かした野菜を栽培しています

## 雪遊び体験事業



お客さん呼び、スノーモービルの試乗体験を実施！！



## 市内直売所での販売



只今、市内各所に私たちが栽培した野菜や「いわなくん」販売中です

## 事業終了後の事業継続 ・雇用継続への展開

地域で生産された産品を多くの方々に味わって頂く為に販路の拡大及び様々な商品を生産、開発を行っていきたくです。その他、栗駒耕英地区の良さを知って頂く為にイベントに企画していきます。

# まちなか賑ワイナリー整備事業【秋田県・鹿角市】

## 事例紹介

### ふるさと雇用再生 特別基金事業

【産業振興分野】

本当の意味での特産品を開発することによって、地域は活性化していくと思います。そのうちのひとつがワイン。他地域との交流や地元食材との連携に役に立てると思います。



株式会社MKpaso  
代表取締役 三ヶ田一弥さん

### 事業概要

鹿角産ワインの特産化の可能性を模索し、地域独自の付加価値の高いワインの開発を行うことで、特産品振興等を図る。

### 委託先

株式会社MKpaso  
(従業員数 : 2人)

新たな  
雇用創出数

1人

### 事業費

約254万円(平成23年度)

事業期間

平成23年1月  
～  
平成24年3月

### 秋田県



地域雇用失業情勢  
(事業開始時点の有効求人倍率)

秋田県 0.48倍  
鹿角管内 0.62倍

### 業務内容

- ◎鹿角地域独自の付加価値の高いワイン生産のための試験醸造を行う。
- ◎開発した鹿角産ワインを付加価値の高い商品として定着させるため、マーケティング等の実施により磨き上げ等を行う。
- ◎ワイナリーを活用した商店街の活性化に向けた方策を検討する。



ワイナリータンク室での作業風景

## 活動紹介

- 山ぶどう交配品種「小公子」で醸造した赤ワイン「SHOUKOSHI 2010」が平成23年度の秋田県特産品コンクールにて奨励賞を受賞。
- 県内各地の「道の駅」や、秋田市アトリオン内の「秋田県産品プラザ」にて試飲販売等を実施。
- 東京・品川のアンテナショップ「あきた美彩館」にて秋田県ワイン協議会メンバーらと秋田ワインの試飲販売やワインセミナーの実施。

- 2月17日 東京・品川のアンテナショップ「あきた美彩館」にて、ワイン評論家を招いてのワインセミナーと、秋田産食材と秋田ワインを組み合わせた勉強会を実施し、秋田ワインの今後について意見交換を行いました。
- 3月6日～9日 千葉・幕張メッセにて行われるFOODEX JAPAN 2012に参加し、秋田ワインを広く宣伝するとともに、マーケティングを実施します。



奨励賞を受賞したSHOUKOSHI 2010



アンテナショップ「あきた美彩館」にて試飲販売

## 今後の姿と課題

現在は期限付免許の更新2回目となりますが、後の本免許取得に向けて鋭意努力しております。

「秋田ワイン」の認知度としてはゼロに近い状態のため、販路の拡大が重要となります。今後も関係者の皆さま方と連携を密にして協力し合い、秋田ワインのすばらしさを広く知ってもらうため、様々な活動を実施したいと考えます。



鹿角の三姫伝説になぞらえた「鹿角三姫物語」シリーズ

# 新商品・加工品開発事業【栃木県茂木町】

## 事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業  
【産業振興分野】

### 事業概要

山間で取れる山菜やキノコを活かした新たな特産品や加工品等の研究・開発により、地域の活性化と開発商品の販路開拓・拡大を図る。

### 委託先

青梅協議会  
従業員数12人

新たな  
雇用創出数

2人

### 事業費

約350万円(平成23年度)

### 事業期間

平成22年4月  
～  
平成24年3月

### 業務内容

地場産品の蕎麦や山菜、キノコ等を利用した新たな特産品や加工品等の研究・開発  
女性(55歳(雇用時))1名、男性(59歳(雇用時))1名

開発商品の販路開拓・拡大

農商工の連携による地域の活性化

今まで取り組めなかった地場産品を活かした新商品の研究・開発ができました。



(青梅協議会 会長 若森 昇)



新たな加工品の研究・試作品づくり

## 活動紹介

◇山間で採れた山菜やキノコ、地場野菜を活かした特産品・加工品の研究・開発に取り組んでいます。

◇地場産品のキノコ(舞茸)の消費を増やすための商品の研究・開発に取り組んでいます。

◇地場産の新鮮野菜を使用した漬物や蕎麦商品の研究を行っています。

事業の継続に至っては、地元の食材を利用した産業起こしには、新たな特産品・加工品の開発をしていく事が大切、かつ、今後もやっていかななくてはならないことなので、今回事業受託を機に雇用を継続させ業務に取り組んでいきたいと考えています。



素材に適した調味料を調合



山で採れた「ざくろ」、「蕎麦」を使用した「ざくろゼリー」

## 事業終了後の事業継続 ・雇用継続への展開

今回の事業を受託する事により、今まで構想のみで実行に移せなかった地場産品を使った特産品や加工品開発にチャレンジできました。

期間中10品目程の商品化にたどり着き、研究成果を基に増産された商品の一部は道の駅での販売にも結び付きました。

その他の商品は、自社運営の蕎麦屋で新メニューとして出されるようになったりしましたが、まだまだ商品の販路開拓は進んでいないため、引き続き販路開拓に取り組むとともに、地場産品を利用した新たな特産品・加工品の研究開発を行っていきたいと考えています。

# 優秀技能者等PR事業【群馬県】

## 事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業  
【産業振興分野】

### 事業概要

ものづくり立県である群馬県のさらなる技能レベルの向上と技能尊重機運を醸成するため、ものづくりの重要性及び必要性を広く県民にアピールし、技能振興を図ることを目的とする。

### 委託先

群馬県職業能力開発協会  
職員数14人

新たな  
雇用創出数

1人

### 事業費

約339万円(平成23年度)

事業期間

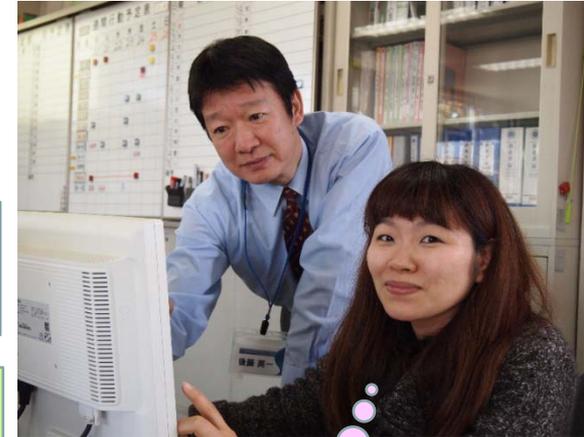
平成21年7月  
～  
平成24年3月

### 業務内容

★県内の優れた技能者(現代の名工等)の活躍状況を調査するとともに、優秀技能者と協力して卓越した技能のすばらしさを広く県民に紹介する。

★職業の理解を深めるために、県内の小学生高学年を対象として、職人(プロ)の実演や作品づくりを通じたものづくりの「体感」と授業形式のミニ講義を実施する。

★大型商業施設の一部を「ものづくり体感教室」の会場にし、一般の来場者に県内の優れた技能者の卓越した技能を披露するとともに、ものづくりも体験できるイベントを実施する。



担当者自身が楽しくなれる  
事業を目指しました!



多くの県民の方々に技をPRできました

## 活動紹介

### ものづくりを**体感!**する事業

(8職種の職人さん達を派遣)

小学校の授業に腕の立つ職人さんを派遣し、プロフェッショナルの高度な技能や道具を目の前で披露するとともに、講義による職業教育を実施しました。その後、ものづくり体験をしていただきました。特に「**体感**」に重点を置き、五感に訴え、日常生活の中にある身近なものもプロフェッショナルの職人さんの手によるものが多くあることに気付いてもらうことで、ものづくりの楽しさと必要性、重要性をアピールしました。

### **ぐんまのすご腕職人スタジアム!**を開催

群馬の優れた職人の卓抜な技能を紹介するコーナーを大型商業施設内に設け、高度な技によるものづくりの実演や紹介を行いました。一般来場者にも職人の指導で作品づくりを体験していただき、ものづくりの楽しさ、必要性、重要性をアピールしました。

(畳・建具・印章彫刻・和服仕立て・板金・左官職人)



職人さんに指導による作品を持つ小学生達



来場者の真剣なまなざしと見つめる職人さん

## 事業終了後の事業継続・雇用継続への展開

群馬の優れた技能者を紹介する事業を通じ、小学生を始め、多くの県民の皆さんが、目を輝かせながら職人さん達の高度な技能に見入っていたことに感動しました。また、教育関係者や児童の親御さん、来場された多くの県民の方々、また、ものづくり事業に協力いただいた団体の方々から、この事業に対し、極めて高い満足度と今後の事業拡大を期待する意見等が多く聞かれました。こうしたことから、今後は、群馬県職業能力開発協会、

(社)群馬県技能士会連合会において小学生を始め多くの県民の皆様を対象にもものづくりを「**体感!**」する事業として継続することを考えています。

# 小田原地方木製品産業雇用再生事業【神奈川県小田原市】

## 事例紹介

### ふるさと雇用再生特別基金事業 【産業振興分野】

#### 事業概要

数年前に技能職人の減少が心配され、当該産業界の製品製造活動に大きく影響することが懸念される技術について、新規雇用者を募り、技能習得・技術向上を促し、近い将来において後継者年齢の底上げにつなげ、他方需要開拓の対応を行うことにより、業界全体の事業育成につなげる。

#### 委託先

(社)箱根物産連合会  
会員数10会員(87組合員)

#### 新たな 雇用創出数

4人

#### 事業費

2,028万円(平成23年度)

#### 事業期間

平成23年4月  
～  
平成24年3月

#### 業務内容

挽物技術(轆轤)後継者(男性1名、女性1名)

ウレタン塗装技術後継者(男性2名)

技能後継者雇用・育成:

就業能力向上のため、挽物製品作成における製作補助作業、顧客対応、関連催事への参加、流通の現状把握等において、実地作業に並行した経験重視の実地研修事業を推進し、早期の現場対応(後継技術の習得)に導く。

- ・実地製造・製作作業見習い(製作補助作業)技術・技能研修訓練
- ・関連補助業務(見本市出展補助、展示会参加補助)
- ・技術・技能研修訓練及び関連技術視察見学
- ・年度末技能向上試験



(社)箱根物産連合会 古宮専務理事

30代の若き職人が育ったことは重要。これからは、多品種少量をこなす職人が求められてくるが、その中で、仕事があるか、量稼げるかもポイントになる。

特に挽物技術後継者の2人は、5～10年先を見たときに、これからの小田原漆器を継承していく為に、大きく貢献してくれるでしょう。



挽物技術後継者の2人の作業の様子



ウレタン塗装技術後継者の作業の様子

## 活動紹介

小田原は国の伝統的工芸品に指定されている、小田原漆器、箱根寄木細工をはじめ、木象嵌、組木、小指物等木製品の産地である。

この産地製造業者の作業場に入り、実地製造・製作作業見習い(製作補助作業)技術・技能研修訓練として、挽物製品・ウレタン塗装製品における製作補助作業を実施。挽物技術は、轆轤を使い、盆、椀等決まった形に削り上げる轆轤(ろくろ)挽き作業(下記工程)を進める。小田原漆器の特色にもなる木の自然の木目を生かすため、その材に「けやき」材を多用するが、材質が固く、木地挽き作業は大変な作業である。また、轆轤挽きに使用する刃物は、既製品が無いため、火造りという作業により、個々に自分に合ったものを、職人自ら鉄の棒から叩き上げて製作する。ウレタン塗装技術は、寄木細工や指物製品、挽き物製品の仕上げ塗装として、ウレタン塗料の吹き付け作業を行う。

<例:轆轤(ろくろ)挽きの作業工程>

荒挽き⇒ 乾燥⇒ 中挽き⇒ 仕上げ挽き⇒ 木地研磨⇒ 木地仕上げ

製造作業のみでなく、製品販売における顧客対応、関連催事への参加補助作業による搬入・展示・販売・搬出の経験、流通の現状把握や関連技術視察見学による製品開発におけるデザインや機能面の考え方を学ぶ等を行い、製品開発、マーケティング、販路開拓につながる一連の作業も研修・訓練し、経験を積んだ。

また、木製品産業内他製品にも関連を持ち、木製品産業全般における広い視野を持つように、交流にも配慮した研修を行って来た。



奈良県斑鳩町のイベントにて実演



寄木細工の体験コーナーでも接客対応



東京御徒町にあるJR東日本の高架下商業施設2K540にて展示会を開催。首都圏にてろくろ技術を実演PR。

## 事業終了後の事業継続 ・雇用継続への展開

観光土産物品に占める割合の多い本地域木製品業界において、昨年の震災の影響は、観光地箱根圏域への観光客減少を招き、いまだに観光客消費の低迷は続いている。技能者高齢化に対応する後継者育成ではあるが、就業環境としての需要が保持される前提が必要で、正社員雇用という就業形態への移行は、親会社に大きな負担を強いる状況にある。このため、内職人としてさらなる訓練を積む方法や、業界として最低発注量を提供する方法などを技術後継者に提案し、業界として工夫により、後継者育成という事業継続に努力している。

# 富山ブランド情報発信・販路拡大事業【富山市】

## 事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業  
【産業振興分野】

### 事業概要

富山の物産の販路拡大と富山ブランドとしての知名度向上を図るため、ホームページを活用し広く情報発信するとともに、大都市圏で開催される物産展などにおいて富山の物産のPRを行う。

### 委託先

株式会社廣貫堂  
(所在地: 富山市)

新たな  
雇用創出数

1人

### 事業費

約336万円(平成23年度)

### 事業期間

平成21年4月  
～  
平成24年3月



地域雇用失業情勢  
(事業開始時点の有効求人倍率)

富山県 0.47倍  
(季節調整値)

### 業務内容

富山市物産振興会ホームページを活用した地域ブランドや各種物産展等のイベント情報の発信及び、会員の商品掲載の更新管理

大都市圏等で開催される物産展等イベントへの出張取材及び、会場での富山の物産PR活動

富山市物産振興会会員からの商品情報収集及び、商品開発セミナー、講習会等の開催情報の提供

富山の特産品を少しでも多くの皆さんに知っていただけるようがんばります。



情報発信・販路拡大推進員

# 活動紹介



## 『富山やくせんお披露目試食会』開催！！ 取材させていただきました。



平成24年2月19日(日)と平成25年度に  
て『富山やくせんお披露目試食会』が開催  
されました。  
本日は富山やくせん普及推進協議会以  
下学を兼ね教授高宮信雄様よりご挨拶があり  
ました。



参加者の方は、600名を超える中  
から抽選で選ばれた約30名の富山市民の  
身です。  
豪華商品を一度に食べられるなんてとて  
も嬉しいイベントです！



物産展イベント(名古屋市内)での物産PR

## 富山市物産振興会ホームページ 取材記事の掲載



大手物流事業者と  
物産振興会会員企業との  
商談会



富山ブランド講習会



海外物産展  
(シンガポール)での  
物産PR(H22)

## 今後の事業展開と課題

本事業を通して富山の物産品や特産品の魅力を情報発信するなかで、物産商品や素材そのものの人気や知名度は実感することができましたが、「富山の～」や「富山湾の～」という地域と物産品が一体的に記憶されている印象が薄く、今後、物産品の本質的な商品力の向上はもちろん、地域の観光資源や文化、歴史などと一体となった「富山ブランド」のイメージの形成を図ることで、「富山ブランド」の確立と全国的知名度の獲得を目指します。

# のと蘭ノ国食遊館活性化事業【石川県七尾市】

## 事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業  
【産業振興分野】

### 事業概要

三方を海に囲まれた能登半島。夏が涼しい海洋性気候や赤土に代表される粘り強い土で独特に風味を育んできた能登野菜や里海でとれた新鮮な魚介類を利用した新メニューやサービスを提供することで、のと蘭ノ国の誘客拡大を図るために取り組みました。

### 委託先

株式会社七尾フラワーパーク  
(本社:石川県七尾市)  
従業員8名

### 新たな雇用創出数

2人

### 事業費

約487万円(平成23年度)

### 事業期間

平成21年7月  
～  
平成24年3月

事業を実施することで、  
蘭ノ国レストランが活性化され地元野菜に注目してもらえたことは大きな収穫だった。



### 業務内容

■能登野菜を利用した新メニューの開発  
観光団体向け昼食会席弁当「胡蝶の膳」の開発  
中島菜を入れたソフトクリームの販売  
中島菜入りメニュー(うどん、おにぎり、ケーキ)の提供

■農村レストランの運営  
地元生産者、加工グループ8団体とタイアップし、主に地元食材(能登野菜)を使ったメニューをビュッフェスタイルで提供  
地元食材(能登野菜)を使ったケーキやスイーツとドリンクセットにした、農村カフェの開催

■能登野菜のPR活動  
農村レストランのポスターの作成、掲示  
能登野菜商品入りパンフレットの作成  
親子イベント開催による、地元住民への周知  
能登野菜キャラクター「ぱっしょん」来館によるPR



レストラン作業

## 活動紹介

### <活動内容>

地元食材を利用した手作り昼食会席料理や、中島菜を練りこんだうどんセットメニュー等、新メニューの考案から、試作品の作成、商品化の検討を行い、観光客や地元住民に提供することで、地元食材のPR及び食遊館に併設している蘭の展示温室「蘭遊館」やグラウンドゴルフ場の来客数や売上の増加につながった。



新メニューの検討会議



新メニュー 胡蝶の膳

地元農業者や加工グループと連携し、地産地消型の「農村レストラン」及び「農村Café」を定期的で開催し、能登野菜や里海でとれた海産物など、地域特産づくり活性化のサポートをすると共に、当館レストラン並びに蘭展示温室の誘客増加を目指した。お客様からは「お野菜もスタッフも地元という雰囲気であたたかい」「味付けも家庭的な味つけでよい」とのご意見を頂きました。



農村レストランメニューの陳列



ビュッフェスタイルの農村レストラン

## 事業終了後の事業継続 ・雇用継続への展開

- ①より品質の良いメニューの提供を目指すと共に、多くの方々に能登野菜や新鮮な海産物に代表される『能登の里山・里海』の豊かな食材を知ってもらう為のPRを今後も積極的に行う。
- ②農村レストランを1年間開催したことで、収支面や材料の使い方などに改善部分が多々あり、来年度からの修正や変更を実施して行く為、これまでの2名を継続雇用する。
- ③結果として少しずつ売上が伸び、さらに新しい取り組みを進めていくため、旅行業者や観光協会、和倉温泉と連携し続けていくことが重要。

# 小諸ブランドの特産品開発及び販路確立事業【長野県小諸市】

## 事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業  
【産業振興分野】

### 事業概要

小諸の特産品となりうる農産物・園芸品種等の小諸ブランドの開発、販路の開拓を行う。

### 委託先

特定非営利活動法人  
こもろの杜  
従業員数 5人

### 新たな 雇用創出数

2人

### 事業費

約453万円(平成23年度)

### 事業期間

平成21年4月  
～  
平成23年3月

### 業務内容

- ・農産物、農産物加工品、園芸品種等のリストアップを行い、生産者の調査を実施。
- ・特産品開発のサンプルを作成し、生育を依頼をする。

- ・雑穀等の生産者を組織化し「こもろ雑穀プロジェクト実行委員会」を立ち上げ、レシピの開発を行い、レシピ集を製作し、個人消費も含め販路を拡大する他、作成したレシピ集のメニューを市民ガーデンで提供し、消費を促進する。

- ・温室ハウスを借用し、小諸の風土にあった「ミソハギ・コムギセンノウ・ハナビシソウ」などを中心に数多くの園芸品種を育成し市民ガーデンで販売する他開発商品の販路を確立をする。

「雑穀で小諸を元気に！」



雑穀プロジェクト実行委員会の合言葉は、そのまま私の想いです。

食の開発商品は、たくさんの人に支えられてできた商品です。おいしく体に良い商品を多くの皆さんにご利用いただきたいと思います。

食の開発担当：高地さん



園芸品種の商品開発とともに販売後の生育相談もおまかせ！

園芸品種の開発担当：中村さん



開発商品を販売している市民ガーデン(駐車場ガーデン)

## 活動紹介

### ★ 食の特産品の開発

“信州そば”に代表されるように信州では、昔から雑穀をよく食べてきました。

雑穀は水田を必要とせず、乾燥地や寒冷地や山間のやせ地でもよく生育し、病害虫にも強く、保存性もよい、たいへん生産効率の高い農産物です。

小諸市の位置する浅間山麓では、厳しい気候条件でも収穫をあげられる栄養価の高い雑穀として、特に粟といくさ(「えごま」の小諸での方言)が多く栽培されてきました。

この雑穀に注目し「こもろ雑穀プロジェクト実行委員会」を立ち上げ、生産と商品の商品開発と販路の開拓を行ってきました。



栽培したいくさの実をおとす

### ● 開発商品の紹介

- ・いくさみそ
- ・いくさクリーミードレッシング: 香ばしいいくさの風味とマヨネーズのコクを生かした一品。サラダだけでなく、肉や魚との相性も抜群。
- ・梅栗ソース: サラダや和え物、パスタに。
- ・小諸産五穀米: もち粟、黒米などをブレンド
- ・あわ・いくさ・そばのレシピ集: 料理コンテストの優秀作品やガーデンの人気メニューを紹介。雑穀の育て方も掲載。



いくさみそ

### ★ 園芸品種の開発

地元の温室ビニールハウスを借用し、オリジナルの園芸品種を栽培し、駐車場ガーデンで販売。多肉植物の「黄金の座(こがねのざ)」は、人気の高い開発商品です。



ハウスで園芸品種を栽培

## 事業終了後の事業継続

### ・雇用継続への展開

- 今回の基金事業終了後も、委託先において、事業内容を継続し、雇用者2名の雇用も継続していく。
- 生産者の組織化、新たなレシピ集の作成のための事業を実施し、すでに確立した販売先との契約は継続し、さらに新たな販路を確立していく予定。
- 今後は新たな販売先の拡大と販売数量の増加が課題となる。

# キャリア女性活用ビジネス推進事業【岐阜県】

## 事例紹介

### ふるさと雇用再生特別基金事業 【産業振興分野】

#### 事業概要

県内過疎地域の高齢・独居世帯等が安心して在宅で暮らし続けることができるように、掃除・買い物代行等の生活支援事業を実施する。

#### 委託先

社会福祉法人新生会  
従業員数 503人

#### 新たな 雇用創出数

5人

#### 事業費

約1,030万円(平成23年度)

#### 事業期間

平成23年8月  
～  
平成24年3月

#### 業務内容

体調が悪い、交通手段がない、天候が悪い等の理由による買い物困難者に対し、買い物を代行して新鮮な商品を利用者宅にお届けする。(65歳以上の高齢者又は障がい者)

買い物代行以外にも、掃除・洗濯といった生活支援を実施する。洗濯については、自宅まで回収・お届けを行い、カーペット等の大きなものにも対応する。

上記のような介護保険対象外のサービス(制度外サービス)を、専門的知識を持ったスタッフが実施することにより、高齢者等に対して、安全・安心な生活環境を提供する。



この先、必ず求められるサービスなので、事業を継続し多くの方に知ってもらいたい。大変喜んでもらえ、やりがいのある仕事です。



安心・安全な生活を送っていただくための大切なサービスです。



掃除代行サービスの様子

## 活動紹介

### ▼各地区における高齢者対象のサロンで、サービスの説明を実施

対象者に事業のPRをしながら、直接サービスの説明をすることにより、質問や要望を聞くことができ、今後のサービス向上につなげる。

実施地区：揖斐川(30)、谷汲(14)、坂内(3)、春日(10)、久瀬(5)、藤橋(2)

### ▼地域の居宅介護事業所等との連携

事例を用いながら、介護事業所等のケアマネジャーに対してサービスの説明を行い、高齢者の自宅における状況を把握した上でサービスを活用してもらい、生活環境の改善につなげる。

### ▼買い物代行サービス

食料品・日用品など利用者の必要なものを購入。商品は利用者本人と確認しながら引き渡す。

### ▼掃除代行サービス

利用者本人が出来ない掃除を行う。遠方に住む家族の要望により見守りを兼ねた週1回の定期利用もある。

### ▼ランドリーサービス

利用者本人が出来ない洗濯を行う。独居高齢者が入院した後の洗濯や、カーペット、毛布等大きなものの洗濯により生活環境も改善された。



地域公民館でのPRの様子



買い物代行サービスの様子

## 事業終了後の事業継続

### ・雇用継続への展開

本事業は高齢化率の高い過疎地域を主に実施してきたが、サービスの周知も含めて、実績が上がるまでには時間を要する。但し、事業の必要性は行政やケアマネジャー等も感じているため、雇用の継続とともに事業のPRを継続していく。訪問看護・介護が高齢者等の身体ケアを、本サービスが生活支援を担い、生活支援と介護保険サービスとの連携を深めながら、事業を進めていきたい。

## 事例紹介

# 障がい者等就業支援事業 【静岡県三島市】

### ふるさと雇用再生 特別基金事業 【産業振興分野】

地産地消・市民手作り品の店  
**strands**

『ストランズ』は、三島市中心市街地で、障がいをもった方の雇用と就労が困難な若者の就労訓練の場として開店しました。また、箱根西麓三島野菜の販売、市民手作り品や三島・伊豆の特産品の販売を通じて「地産地消」を推進しています。

店長の高林です。  
お店でスタッフが皆様のお越しをお待ちしております。



### 事業概要

【事業概要】地産地消の店「ストランズ」として、箱根西麓三島野菜の販売・地元市民の手作り品の販売と三島ブランド、伊豆一円の地元特産品の販売のお店を営業しています。  
【事業経緯】運営母体であるリベラヒューマンサポートが活動している就労の難しい障がいを持った方たちのための雇用の場や訓練の場として「ストランズ」をオープンしました。

### 委託先

NPO法人リベラヒューマンサポート  
従業員数 28人

新たな  
雇用創出数

3人

### 事業費

約1341万円(平成23年度)

事業期間

平成23年4月  
～  
平成24年3月

ふじのくに  
静岡県三島市



### 業務内容

#### ○「ストランズ」店内での野菜、特産品等の対面販売

雇用した障がい者のコミュニケーションの克服、お客様への感謝の気持ちや礼儀作法の習得などを中心に雇用の継続に至っています。

#### ○在庫管理、入出庫の確認、レジ打ち及び現金精査

雇用した障がい者の小売り販売業に関する知識、技能を習得し、将来は、同業他店舗でも通用するノウハウを培うための指導をしています。

#### ○店内の整理整頓、清掃、備品管理等

店内の整理整頓や清掃、道具の管理などを通じてビジネスマナーの理解や習得を進めるとともに、仲間とのチームワークを学んでいます。



三島市の中心地、「大通り商店街」に位置し、毎日、地元の市民の方の来店でにぎわいを見せています。

## 活動紹介

地元で採れた新鮮な野菜を対面販売で売っています。お客様との会話が楽しい毎日です。



仕事をするこの大変さや楽しさを学び、自分を成長させることができました。



### 箱根西麓三島野菜



箱根西麓三島野菜  
新鮮なうちに  
毎日お届けしています。

伊豆半島一円の特産品・名産品を販売しています。



### 伊豆特産品・三島ブランド

28名の市民オーナーが心を込めて作った手作りの品が勢ぞろい!

### 市民手作り品



たくさんの市民の方に支えられて、楽しく、毎日、働いています。

# 地産地消の店 ストランズ

〒411-0855 静岡県三島市本町9-3  
☎ 055 (943) 7698

E-Mail : [strands@libera.or.jp](mailto:strands@libera.or.jp)  
URL : <http://www.libera.or.jp/strands/>

故郷の香りを受けて大切に皆様のもとへお届けします。

### ふるさと宅配便



ふるさとからの心を込めた贈り物。喜んで頂けるよう一つ一つ丁寧に送ります。

ふるさとネット通販

<http://www.libera.or.jp/strands/shop/>

## 事業終了後の事業継続・雇用継続への展開

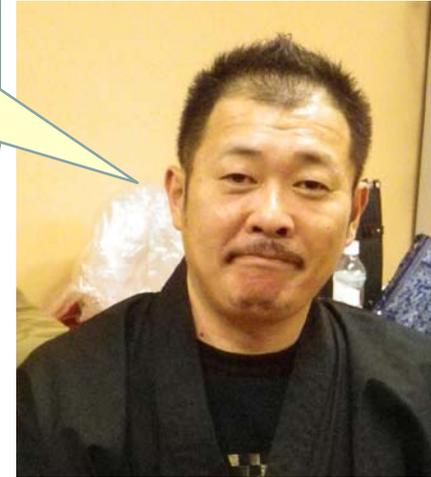
新規雇用者3名を平成24年も継続雇用させていただき、更に箱根西麓三島野菜や地元の特産品を増やしていくことにより「地産地消」を推進し、事業展開していく予定です。また、平成24年1月から箱根西麓に開園した自主農園「リベラ・ファーム」の収穫物をストランズで新鮮・安価で市民の皆様にご提供していきたいと考えています。

# 伝統的工芸産業振興事業【三重県鈴鹿市】

## 事例紹介

### ふるさと雇用再生特別基金事業 【産業振興分野】

国指定の伝統的工芸品である鈴鹿墨も今では製造業者は弊社たった1軒となりました。貴重な伝統産業を私の代で絶やすわけにはいきませんので、ふるさと雇用再生特別基金事業を活用し、若い力を導入することで、伝統産業の再生を試みました。



有限会社進誠堂  
代表取締役  
伊藤 忠さん

#### 事業概要

鈴鹿墨を活用した新商品の開発に寄与する情報・研究材料の収集をするとともに、鈴鹿墨の普及・啓発を目的とするイベントや展示会への出展等を行う。

#### 委託先

有限会社進誠堂  
従業員数6人

#### 新たな 雇用創出数

1人

#### 事業費

約334万円(平成23年度)

#### 事業期間

平成21年7月  
～  
平成24年3月

#### 業務内容

鈴鹿墨を活用した新商品の開発

鈴鹿墨の普及・啓発を目的とするイベントの開催や展示会への出展

インターネットやマスコミを活用した鈴鹿墨の宣伝活動



新商品の開発に向けて打合せ

## 活動紹介

新規雇用した成瀬さんが20代の女性ということもあり、女子学生やOLをターゲットにしてパッケージや墨のデザインに意匠を凝らした商品を開発するなど、今までの製墨業界では生まれて来なかったまったく新しい視点での商品づくりのアイデアが得られました。

また、本事業開始後に後継者となることを目指して入社した伊藤さんが、社長から墨づくりを基礎から学ぶ一方で、成瀬さんと協働して若者の感覚を生かした商品開発を行ったり、ビジュアルに趣向を凝らしたホームページを立ち上げるとともに、ブログで様々な情報を発信しています。

本年10月には名古屋の中心街で女流書家の中塚翠涛さんとコラボレーションし、書道の愛好家や中高年齢者層を意識した旧来の啓発イベントとはまったく違うカジュアルでお洒落な雰囲気イベントを開催しました。

狙い通りたくさんの若い女性にも参加していただき、書で遊ぶ楽しさと墨汁とは違う固形墨の良さを体感していただきました。



若い女性を意識してパッケージをデザインした「華と夢」



文字がきらめくらめ入りの墨「煌」



製造の過程で出るバリを再利用し、墨特有の香りを楽しめる「墨の香袋」



人気女流書家とのコラボイベントを開催

## 事業終了後の事業継続 ・雇用継続への展開

この事業を通じていくつか試作品を開発することができました。今後は試験的に販売を行っていきながら、商業ベースに乗せられるような事業展開を目指します。豊富なアイデアを持ち、なおかつパソコンを使った作業も得意な成瀬さんは弊社にとって今や重要な戦力です。従来、男性職人が表舞台に立ち、女性の活躍があまり目立たなかった製墨業界ですが、女性ならではの発想と視点を取り入れながら、伝統を守りつつも新しい分野へどんどんチャレンジしていきます。

# 和楽器弦の技術を活用した洋楽器弦の開発事業【滋賀県】

## 事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業  
【産業振興分野】

多方面への弦の可能性  
を追求してまいります！

### 事業概要

和楽器弦製造の伝統技術を活かし、日本のみならず西洋弦や中国弦の製造に乗り出す。

### 委託先

丸三ハシモト株式会社  
従業員数9人

### 新たな 雇用創出数

1人

### 事業費

約474万円(平成23年度)

### 事業期間

平成22年10月  
～  
平成24年3月

### 業務内容

邦楽器系、特殊撚糸を製造する。主な製品は、三味線系、琴系、十七絃系、義太夫系、琵琶(薩摩、筑前)系、胡弓系、三線(蛇皮線)系、大島系、その他和楽器系全般、ウクレレ弦、中国伝統楽器弦、及び絹糸による特殊撚糸製品など。



## 活動紹介

新規雇用者は、主に原料から完成品までを加工する製造部門を担当。加えて事務処理も行い、新事業に関するアクションプランの作成など、企画立案にも携わり、新事業を行う上で重要な部門を一部任せた。



商品化したウクレレ弦



商品化した中国伝統楽器弦

## 事業終了後の事業継続 ・雇用継続への展開

新たなプロジェクトとして中国の伝統楽器(二胡、琵琶、古琴など)への参入に乗り出している。中国の伝統楽器は今現在ほとんどがスチール弦となっており、本来中国において使われていた絹弦が現在ほとんどない状態である。しかしながら近年の中国における中国国民の趣向の変化を考えると、絹弦の良さを求める風潮も出てくるのではないかと考えられる。2011年10月に上海で行われた国際楽器展覧会に出展し、多方面から関心を抱かれ、引き合いも活発であった。

# 京都発・試作事業の拡大事業【京都府】

## 事例紹介

### ふるさと雇用再生特別基金事業 【産業振興分野】

#### 事業概要

ものづくりに従事してきた失業者を雇用し、先端産業や伝統産業分野に関する試作ビジネスを拡大するとともに、ノウハウや人脈を活かしたビジネスマッチングを展開していく事業

#### 委託先

京都試作センター株式会社  
従業員数 18人

新たな  
雇用創出数

5人

#### 事業費

21,000千円(平成23年度)

#### 事業期間

平成21年7月  
～  
平成24年3月

#### 業務内容

試作並びに製造、加工、販売その他処分等に関連する案件の受発注斡旋業務と、ソフトウェアの試作に関連する設計開発受託設計、インターネット等のネットワークを利用した受発注

各企業様とのネットワークをフルに活用し、先端産業のみならず身近な製品や機械など、オンリーワンの製品を創り出す新たな試作を担い、事業拡大に挑戦

依頼を受けた伝統工芸品をプロの職人により製作、修理、修復、復元等の連携を行い、貴重な工芸品を伝承

ビジネスモデル検討～仕様検討～プロダクトデザイン～構造設計～回路設計～ソフト設計～評価試験まで、企業・大学・研究機関の商品開発工程を支える多様な試作を行っています。



雇用再生対象者を含め社員一同、元気に頑張っています。

積極的に展示会の参加も行っていきます。



電子部品商談展の様子

## 活動紹介

京都1200年のモノづくりの歴史を持つ多くの試作企業の中から厳選した高品質の試作企業を網羅し、試作企業群の窓口として契約、決済、機密保持などの一本化を行います。また異分野の試作や多様な試作のお客様のニーズに柔軟な対応と、試作パートナー企業（主に中小企業）や多くの大学・研究機関の多彩な技術シーズを高いレベルで結び付けます。

民間企業の効率性と柔軟性を発揮する、21世紀型の会社組織（ソーシャルエンタープライズ）です。

伝統工芸部門では、京都ならではの伝統工芸品の製作、修理、修復等の依頼を受け、プロの職人との連携を行います。また、お直し相談会を定期的に開催し、依頼者との直談を行っています。ご相談・お見積りまでは無料で行い、貴重な工芸品の修復でお困りの方の救世主となっています。その他、土産売場への品物に関するご提案や、イベントのノベルティに関するご提案も行っています。



関西技術要素展ブースの様子



試作事例(タグリーダー)

伝統工芸部門では、職人の技により大切な伝統工芸品を甦らせてます。



2011年東京ギフトショー参加



Before

After

伝統工芸品の修復

## 事業終了後の事業継続 ・雇用継続への展開

京都に携わる企業と協働して新たな顧客も開拓し、さらなる研究開発に取り組んでいきます。必要な時に必要な開発設計業務をお手伝いし、顧客のニーズに応えられるよう技術の向上を目指しています。新たな雇用人員も、モノづくりに対する構想力をさらに高め、顧客に満足されるビジネスパートナーとしてスキルの向上を図っていきます。



洞爺湖サミット用LED手元灯  
総計 1万個の量産

# 地域農業担い手経営多角化事業【兵庫県たつの市】

## 事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業  
【産業振興分野】

これまで地元醤油会社や素麺組合に原材料として供給していた小麦や大豆を活用し、新商品の開発や販売を行うことで経営の多角化に努めます。また、原材料の小麦・大豆の生産規模を拡大することで、地域農業の活性化を図り、生産意欲を高めていきます。



(株)ささ営農 代表取締役社長  
八木 正邦さん

### 事業概要

たつの市産の高タンパク小麦・大豆の生産規模の拡大や、関係企業・団体と連携した加工品の商品開発、さらには直売所での農産物・加工品の販売などを通じて、地域の特産品の確立や経営の多角化を目指す。

- 加工品例: 乾麺、白味噌、豆腐など
- 連携団体: 製粉会社、味噌加工グループ、豆腐業者など
- 販売方法: (株)ささ営農の直売所にて販売

### 委託先

株式会社ささ営農  
兵庫県たつの市新宮町

### 新たな 雇用創出数

4人

### 事業費

13,489千円(H23年度)

### 事業期間

平成22年4月～

### 業務内容

農産物の生産・販売

直売所の運営

加工品の開発・販売



### 農場の風景



人気商品「ささのう米」

## 直売所の運営

農産物を中心とした直売所の運営をすることにより、地産地消の促進による一次産業の活性化を図ります。



産地直送の  
とれたて野菜



ささ工房(加工部門)での作業風景

## 地場産品加工開発

安全・安心な地場産品を使用した加工品の開発、販路拡大を進めます。



こだわりの  
豆腐・クッキー・味噌・米・乾麺



## 今後の姿と課題

生産・加工・販売の安定化を図るため、さらなる6次産業化の推進、経営面積の拡大、資金調達、人材育成に取り組みます。

# 地域資源活用ビジネス推進によるUIターン人材誘致事業【和歌山県】

## 事例紹介

### ふるさと雇用再生特別基金事業 【産業振興分野】

#### 事業概要

新たにUIターン者を雇用し、新商品開発や新規事業展開に関する委託業務に取り組む

#### 委託先

龍工房木工生産組合  
従業員数4人

#### 新たな 雇用創出数

1人

#### 事業費

約276万円（平成23年度）

#### 事業期間

平成22年4月  
～  
平成24年3月

#### 業務内容

龍神木材（和歌山県）を使った木工製品の製造及び販売業務。一般的な杉・檜は、硬度的にもあまり木工製品には適さない。ところが龍神村の同種の木については、木目が締まっていることもあり、見た目もきれいである上に壊れにくいという特性を持つ。この地域資源を活用した木工製品を製造・販売していくことで、龍神村地域の木材の認知度を上げるとともに、地域全体の魅力もPRしていく。

地域の担い手となる人材誘致を目的とすることから、雇用対象は県内各地へのUIターン者とし、主に事業所所在地に移住し業務に携わることを条件として公募

「快適な生活環境づくりに繋がる家具を提供していきたい。また、地元材を使うことで、林業の発展とPRを目指す。」



「木工製品の設計打ち合わせ」

## 活動紹介

本事業については、地域資源を活用したビジネスを推進し、雇用を創出するとともに、地域への人材誘致を図ることで、地域を活性化していくことを目的としている。

委託先である『龍工房木工生産組合（通称Gワークス）』は、木工家具の製造・販売を行っているが、国産木材の需要が低迷する中、地域資源である龍神木材の新たな需要創出、知名度の向上を目指している。

今回の雇用者については、事業所の生産力の強化及び新たな視点（アイデア）を製品に反映させるなど事業に貢献している。また、木工教室の講師を務めるなど、地域にも積極的に参加しており次世代を担う人材になりつつある。移住者としての側面もあるので、自治体が開催する移住希望者を対象としたセミナーにも参加し体験談を語るなど人材誘致にも協力。

今後は、Gワークスでの経験を活かし、独立して田辺市龍神村にて事業展開していく予定となっている。

〔備考〕 「ABCニュースゆう+（プラス）」  
「中日新聞『天職ですか』」でも紹介される。



「製品のチェック」



「製品について説明・販売中」

## 事業終了後の事業継続

### ・雇用継続への展開

平成24年4月からは、内閣府の地域社会雇用創造事業「農村六起プロジェクト」の採択を受け、田辺市龍神村地域で木工の事業を立ち上げる。前述のとおり、事業を立ち上げるので雇用の継続は無いが、技術習得をかねて、数日／週は現事業所にて勤務する予定。

# 障害児者雇用調整事業【山口県周防大島町】

## 事例紹介

### ふるさと雇用再生特別基金事業 【産業振興分野】

#### 事業概要

地域の中の高齢者等が畑や家庭菜園で栽培したり、漁業者が漁獲したが流通ルートに乗らない規格外の農水産物等を対面販売やインターネットを通じて販売する事業へ障害児者が社会参加できる場の構築。



#### 委託先

和田地域活性化協議会  
げんきや和(なごみ)  
従業員数3人

#### 新たな 雇用創出数

1人

和田地域活性化協議会スタッフです

#### 事業費

約258万円(平成23年度)

#### 事業期間

平成22年4月  
～  
平成24年3月

#### 業務内容

- ・流通に乗らない規格外の農水産物の対面販売
- ・流通に乗らない規格外の農水産物のインターネットによる販売
- ・農水産物の加工商品づくり(ヒジキの乾燥・袋詰め、魚の干物づくり等)
- ・農家レストラン部の手伝い(地元産のわけあり農水産物使用)
- ・民泊体験型修学旅行生受け入れ(体験型観光の体験提供)



わけありみかんの箱詰め作業中です

## 活動紹介

地域の高齢者等住民が生産したり、漁獲した農水産物のうち規格外の産品で、流通に乗らないわけあり農水産物が多く出ます。それらを対面販売やインターネット販売することは、地域の高齢者の生きがい対策や現金化につながります。

また、障害者の地域内雇用の受け皿として働く場をつくり、社会参加を促進することができればと、事業への取り組みを始めました。

農家レストラン部(障害者の雇用目的で開業)では、地元産の食材料の下準備手伝い、食器洗い、花壇の水やり、客室の清掃準備、日替わりメニューの印刷手伝い、定食セット準備、調理補助、お客の案内・お茶出し、注文受け、料理出し、食器下げ、食器洗い、賄い食づくりの手伝い、惣菜の配達などを障害児者に担当してもらっています。

また、民泊型修学旅行生の受け入れの業務補佐として、障害児者も修学旅行生のお世話をします。(家業体験・・・畑作業、釣り、ミカン収穫作業、農家レストランの手伝い等)



農家レストランの惣菜のラッピング中です

## 事業終了後の事業継続 ・雇用継続への展開

- ・本事業は、障害児者支援に向けて継続していきます。
- ・障害児者の受け入れについては、平成23年度までは、支援学校の生徒の実習受け入れの形で実施してきましたが、平成24年4月からは障害者雇用の形で受け入れていく予定です。
- ・問題点は、障害児者が業務に携わる際にすぐそばでスタッフの指導、助言を必要とするため、業務の効率化につながり難しいことです。

# エコサロン開設事業【愛媛県四国中央市】

## 事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業  
【産業振興分野】

地域の人たちからも喜んで  
もらえて、街の人の認  
知度も上がってきました。  
商店街の空き店舗を利用  
しており、賑わいの創  
出に貢献しています。

### 事業概要

商店街の空き店舗を借り上げ、家庭などにある素材等を利活用  
して製作した手作り品の委託販売を行うスポットを開設

### 委託先

川之江栄町商店街振興組合  
従業員数3人

新たな  
雇用創出数

2人

### 事業費

約770万円(平成23年度)

### 事業期間

平成22年4月  
～  
平成24年3月

### 業務内容

手芸団体のネットワークを通じて、手作りでエコな作  
品を作っている方へ出品を呼びかけ、その作品の委  
託販売を行っています。  
また、店舗奥を活用し、出品者や手芸サークルによ  
る手芸教室を企画しています。

店  
内  
の  
様  
子



川之江栄町商店街  
副理事長 高原さん



## スタッフのみなさん (新規雇用者)

店内がお客様で  
いっぱいになる  
ような、お店をめ  
ざしています。

星川千恵さん



手作りのあたた  
かみを実感して  
ください。

森實由美さん



アクセサリなどの小物から  
服やバックなども全て手作りです。

## 事業の経緯と今後について

商店街の空き店舗による賑わい創出と、手芸や手作りの作品の発表の場を提供してほしい、手作りの作品を購入したいなどの地域の声とをマッチングして事業を実施してきました。

新規雇用されたスタッフの方が、出品者へ来客者のニーズをお伝えし、作品作りの参考にしていただくなど、出品者・購入者双方に喜んでいただいております。今後も事業を継続していきたいと思っています。

# 地場農産物加工場支援事業【福岡県古賀市】

## 事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業  
【産業振興分野】

### 事業概要

新たな特産品づくりや地元農産物を使用した加工品の商品開発、販路拡大などの新たな事業展開を図り、当該加工場の安定的な運営に寄与する

### 委託先

農村加工所「まんま実～や」  
従業員数12人

新たな  
雇用創出数 2人

### 事業費

362万円  
(平成23年度)

### 事業期間

平成21年8月～  
平成24年3月

### 業務内容

- 新たな特産品づくり
- 地場農産物を使用した加工品の開発
- 販路拡大に向けた業務  
( その他、農村加工所の運営に関する業務 )

# 農村加工所 まんま実～や



## 背景

農村加工所「まんま実～や」は、古賀市の農業女性12人が郷土料理や地元農産物で作った加工品を多くの人に食べていただきたいとの願いから、平成21年に発足しました。

農業を営む傍ら、農産加工への想いを秘め10年、加工方法の研究や衛生面の研修を重ねての起業。安心安全、手づくりこだわった商品作りには、やはり“人手”が必要です。そんな折、このふるさと雇用事業の募集を知り、応募、うまくマッチングが成立しました。

## 特徴

- ① 若手や高齢、世代を超えた女性らがそれぞれの能力や経験を活かせる事業です。
- ② 地域の特性を活かせる事業です。

## 成果

農商工連携で協議会を立ち上げ、粕屋産ブロッコリーを使った新商品を開発。アグリフードEXPOや様々なイベントにも出店し、既存商品とともに販路拡大中。

### 事業終了後の事業継続 ・ 雇用継続への展開

市では、新たな地域ビジネスの創出などを目指す六次産業化を推進していますが、農産物を素材化するための加工、実用化に向けての実証などが六次化を志す地域農業者にとって高いハードルとなっています。

そこで、古賀市内で農産加工に技術と実績をもつ農村加工所「まんま実～や」に市の指定する農産物(10品目程度)の素材化、商品化に向けての実証等をしていただく業務を委託します。

ここで、3名程度の失業者を雇用することにより、六次化推進の一役を担ってもらうとともに、農産物加工に精通した担い手(マイスター)の育成を図る予定です。

未来に伝えたい ふる里の味  
子どもに伝える母の味



# 宇久地域物産振興事業【長崎県佐世保市】

## 事例紹介

### ふるさと雇用再生特別基金事業 【産業振興分野】

#### 事業概要

宇久地域産品の認知度向上・販路拡大を目的とした以下の事業の実施。

- ①物産展への出展、広報宣伝、新商品開発など
- ②アンテナショップレストランの運営・管理

#### 委託先

株式会社 宇久食品  
従業員数 29人

新たな  
雇用創出数

10人

#### 事業費

61,757万円(平成23年度)

事業期間

平成21年7月  
～  
平成24年3月

#### 業務内容

新商品開発

各種物産イベントへの出展

広報宣伝及び広報宣伝資材作成

アンテナショップの運営

五島列島の最北端の島「宇久島」は、本土からフェリーで3時間以上と地理的に不利な条件に位置し、人口の減少や高齢化にともない、地域産業の衰退が危ぐされる状態となっています。

この危機的状況を打破するため、本事業を活用し、新商品開発・販路拡大・アンテナショップの開設・運営などの取り組みを実施してまいりました。

今後、この取組が効果を発揮し、島内の産業の活性化につながることを期待しています。

佐世保市  
企業立地・観光物産振興局  
物産振興グループ 馬場



商品開発及び販売商品

## 活動紹介

- 新商品開発
  - ・「かきめしの素」「たこめしの素」など
- 各種物産展等への出展
  - ・物産展:「感動九州! 観光物産フェア」「大九州物産展」など
  - ・商談会:「長崎チャレンジ商談会」「こだわり食材商談会」など
- 広報・PR及び資材作成
  - ・メディア等を活用した広報・PR:地元FMでのCM放送、タウン誌への情報掲載など
  - ・資材作成:PRパンフレットの作成など
- アンテナショップの管理・運営
  - ・宇久産品を使用したメニューの開発・提供
  - ・宇久島の情報発信



上記の活動を複合的に実施することにより、宇久地域で生産される商品の売上の維持・向上ができたこと、特に、アンテナショップを開設・運営したことにより、事業収益を確保することができた。

このことにより、新規雇用者の継続雇用及び事業継続の継続が可能となった。



物産展出店風景



アンテナショップ運営風景

## 事業終了後の事業継続 ・雇用継続への展開

### 【事業継続に対する支援】

本事業の目的である雇用の継続を支援するため、宇久地域の物産品の売上向上並びにアンテナショップの運営に対する支援を行うこととし、平成24年度より本市独自で支援(補助事業)を実施することとしている。(宇久地域物産品PR事業)

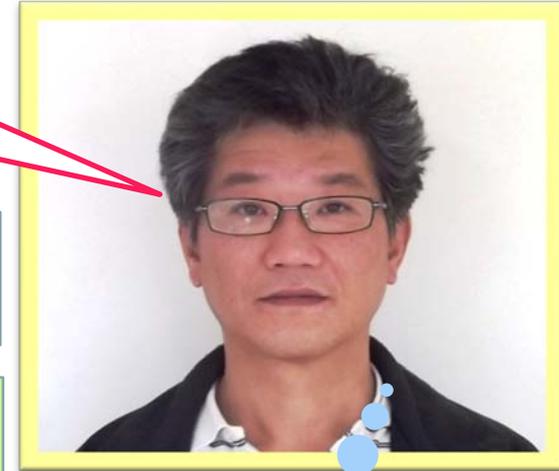
この継続支援により、本事業の効果の定着・向上が期待できることから、宇久地域経済の活性化が図られるもの考える。

# 伝統的工芸品等後継者育成支援事業【宮崎県】

## 事例紹介

### ふるさと雇用再生特別基金事業 【産業振興分野】

国及び宮崎県認定伝統工芸士  
小倉大弓製作所  
代表 小倉 哲朗さん



#### 事業概要

後継者確保が難しい伝統的工芸事業所等に失業者を雇用し、地域の風土に根ざした伝統的工芸品等の制作を行うことにより、伝統的工芸品等の振興を図る。

#### 委託先

小倉大弓製作所(三股町)  
従業員数 1名

#### 新たな 雇用創出数

1人

#### 事業費

約160万円(平成23年度)

#### 事業期間

平成23年4月  
～  
平成24年3月

弓師が減少している中、伝統の技を引き継ぐ後継者が育ち、産業が発展していくことを望んでいます。

#### 業務内容

国の伝統的工芸品「都城大弓」を製作するにあたっての道具の使い方、材料の選別、製造工程を習得し、技術の伝承を図る。

### 新規雇用者: 栗田さんからのコメント

都城・三股地区は弓づくりの聖地！  
弓づくりは知れば知るほど奥が深く、毎日が勉強です。  
小倉さんには一つひとつ丁寧に、分かりやすく教えていただいています。  
一人前の弓師を目指し、これからも日々努力していきます！



## 活動紹介

都城大弓の製造には、およそ200の工程があり、工程の大半は手作業で行われます。一般的に、全ての工程を身につけるには10年かかると言われています。

栗田さんの作業を見守る小倉さん

### 作業風景



小倉さんによる指導



#### 【事業の特徴】

雇用を生むだけでなく、地域の伝統産業を活性化できるメリットがある。“技術の伝承”が目的のため、最終的には独立という道があることから、雇用主としても雇い入れやすく、被雇用者は最終的には独立するという目標を持って仕事に取り組むことができる。



### 事業終了後の事業継続 ・雇用継続への展開

5年間で技術を身につける育成計画であるため、事業終了後も委託事業先にて自主的に雇用を継続し、技術の伝承を図っていく。

# 後世に残したい島の宝発掘・再生事業【鹿児島県西之表市】

## 事例紹介

### ふるさと雇用再生特別基金事業 【産業振興分野】

#### 事業概要

- ①種子鋏鍛冶技術の継承と保存
- ②地域資源を活用した新たな事業活動に取り組む地域や事業者の活動支援、連携のコーディネート

#### 委託先

NPO法人ジュントス  
従業員数2人(新規雇用者)

#### 新たな 雇用創出数

2人

#### 事業費

576万円(平成23年度)

#### 事業期間

平成22年10月  
～  
平成24年3月

#### 業務内容

①鍛冶技術の習得に意欲や関心のある人材を雇用し、種子鋏製造技術の継承と保存活動を行う。

②市内各地に残る文化や昔ながらの技術、その他の地域資源を活用した事業のコーディネート、支援を行う。



▲技術を受け継ぐため、毎日厳しい鍛練が続きます



NPO法人ジュントス  
理事長 榎本 孝

鉄砲と一緒にポルトガルから伝わった鍛冶技術で、西洋のはさみと日本のはさみを組み合わせ作られた種子鋏(たねばさみ)。30を超す製作工程を職人が勘を頼りに行い、随所に熟練した技術が見られます。

その工程を守る鍛冶屋は島内で一か所となり、後継者の育成が長年の課題でありました。こうした伝統技術をはじめ、後世に伝えていくべき地域の宝はたくさんあります。

長年、地域おこしやまちづくり活動に携わってきた団体として、こうした宝を掘り起し、地域全体で支え育てていきたいと思えます。

## 活動紹介

### 【種子鋏鍛冶技術の継承】

種子鋏製造にかかる伝統の工程は細かく分けると32あるとのこと。その一つ一つの工程に無数の職人技が光ります。

後継者候補として雇用された梅木昌二さんは、島で唯一、その工程を守る鍛冶師の牧瀬義文さんの指導をあおぎ、厳しい修行を続けています。

「早く売り物になるものを作りたい。」と意欲的に取り組む梅木さん。少しでも早く立ち立ちできるよう、がんばっています。



← 試作品の種子鋏

### ▼指導者の牧瀬さんと後継者の梅木さん(右)



### ▼コミュニティ研修会の様子



### 【地域資源を活用した事業の支援・コーディネート】

市内各地に残る文化や昔ながらの技術、その他の地域資源を活用した事業を行う地域・市民団体が増えてきています。もう一人の雇用者、長野恵理加さんは、こうした事業活動への協力、サポートを行うとともに、団体間の連携を図るお手伝いをしています。その一環として、各地域や団体・事業者等を対象にした研修会、交流会等を開催しました。

## 事業終了後の事業継続 ・雇用継続への展開

「種子鋏の製造技術」は、記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財として選択するよう、国の文化審議会による答申が平成24年1月になされました。

民俗技術としては鹿児島県内初の選択文化財となることから、地域の宝として誇るべきことであります。さらに、技術の継承は、地域全体の責務としてこれまで以上に積極的に取り組んでいくべき重大な課題と考えます。本事業が後継者育成の一助となったことは喜ばしいことであり、今後は、行政の支援もいただきながら、可能な限り事業継続に努力していきたいと思います。

# 伝統工芸産業振興事業【沖縄県今帰仁村】

## 事例紹介

### ふるさと雇用再生特別基金事業 【産業振興分野】

#### 事業概要

地域の自然素材を活用した工芸産業の振興を図るため、染色技術者の育成をしながら染織体験や染色体験教室を実施し、体験学習や観光拠点としての振興を図る。

#### 委託先

(有)中嶋プランニング  
従業員数2人

#### 新たな 雇用創出数

1人

#### 事業費

約188万円(平成23年度)

#### 事業期間

平成22年4月  
～  
平成24年3月

#### 業務内容

- 1、亜熱帯植物を用いた新繊維素材の研究・開発
- 2、地域の天然資源を用いた染料・顔料の研究・開発
- 3、開発した素材を使用した、用途ある商品の開発
- 4、沖縄の地域素材を活用して、「ここでしかできない」体験教室の実施:染色・手織(準備中)



地域の自然素材を有効に活用して沖縄、今帰仁村ならではの特徴的な作品を作ってもらえるようにしていきたい。  
また地域と素材、地域と染織という繋がりの中で、何か地域の文化や教育にも関わる事ができればと思っている。



ハイビスカスの繊維採取

## 活動紹介

地域の自然素材を見極め採取から糸や生地製作を行い有用なものかどうか研究しており、これまでのところ、ハイビスカスやオクラといった地域の植物から紡績メーカーの協力のもと糸や生地の開発に成功している。又、ハイビスカスやオクラ等混紡しない100%の糸の開発にも成功している。

### 体験教室

観光客はもちろん地域の住民も含め、沖縄の「ここでしかできない」体験を得てもらえるよう取り組んでいる。特徴は使用する生地や染料・顔料に地域の天然素材を用いていることで、また単なる体験ではなく、完成した成果が「使えるもの」になるよう、意識している。

### 外部への発信

1. 第1回全国染織産地展(東京都立産業貿易センター浜松町会館)  
2010年11月11日、12日開催
2. 大川(H23沖縄県工芸新ニーズモデル創出事業)
3. 東京ミッドタウン・THE COVER NIPPON  
(H23沖縄県工芸新ニーズモデル創出事業)



染色体験 マイバッグの染色  
(ふくぎ染め)



東京都六本木ミッドタウンでの  
展示会

## 事業終了後の事業継続 ・雇用継続への展開

体験メニュー等が整い、今帰仁村の広報等とも連携することで、観光客からも徐々に認知されるようになってきた。また、沖縄県内や周辺地域に在住の方から腰を据えて学びたいとの要望も出てきており、今後より一層の広報と、求められるメニューの整備、地域の学校等への体験プランの提案などに取り組んでいきたい。その前提として、強みである地域の自然素材のより一層の研究と共に、これまでの成果である素材を最終製品の形へ昇華させ、効果的なブランドイメージを発信できるよう商品化やプロモーションにも取り組んでいきたい。